



学校だより

令和4年4月7日

4月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



「生き生き日枝っ子」

校長 加藤 智敏

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

朝、校内を巡る時、優しい春の日差しや周りの木々でさえずる小鳥の声が心地よいです。ふと窓の外を眺めると、今年度は春の訪れが早く、桜の花の間から若い葉が芽吹く様子が見られます。

本日、新1年生92名を迎え、2022年度、日枝小学校の新しい一年がスタートしました。コロナ禍は続きますが、子どもたちはアイデアを出し合い、希望に満ちた学校生活を始めようとしています。

今年度から住田昌治校長の後任として4月1日に日枝小学校の校長として着任しました、加藤 智敏（かとう ともとし）と申します。出身は和歌山市ですが、以前に南区の白妙町で暮らしており、蒔田公園や学区内にあるお店にもよく通っておりました。また、私は社会科を専門としておりますので、子どもたちと学ぶために、この日枝小学校の周りをよくフィールドワークしたことを覚えております。

歴代の校長に誘いを受け、授業を参観したこともありました。その時子どもたちが、初めて会う私に気さくに話しかけてきたかと思うと、「そう言えば先生、何年何組の先生だっけ?」「あれ、先生、違う学校の先生なの?日枝小学校の先生だと思っていたよ!」と話し、一緒になって笑い合ったことを思い出します。あの人懐っこい日枝の子どもたちとこれから一緒に過ごせること、本当に嬉しく思います。

本校では、「生き生き日枝っ子」を学校教育目標に掲げ、学習や様々な教育活動に意欲的に取り組む子どもたちを育ててまいりました。また、SDGs、ESDの観点をもとに市内外にも発信を続け、これからの変化の激しい社会の中で、新しい未来を創る担い手となるよう、主体的に、協働的に問題を解決していく力を育んで参りました。子どもを「よりよく」育てることは、教職員だけではできません。これから変わりゆく社会の中で、学校・保護者・地域・諸関係機関が一体となって育てることが今まで以上に必要となります。一層本校の取組をご理解いただき、学校と心をつなぐ「生き生き日枝っ子」の実現に向けて、子どもたちを育てていただくとともに、学校を支えるお一人として、小さなことでも結構です、さらなる教育活動へのサポートと参画をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束することを願い、感染予防に取り組みながら教育活動を進めていきたいと思っております。

ご協力よろしくお願いいたします。

学校教育目標「生き生き日枝っ子」の花

